

土浦市

TSUCHIURA City

■概要／人口：138,557人

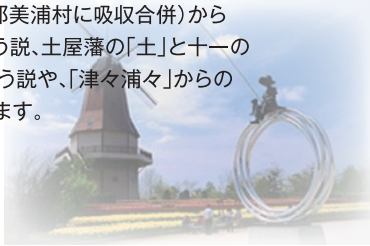
年間観光入込客数：1,738,300人

■由来／土浦村（現在の稲敷郡美浦村に吸収合併）からそのまま借りたという説、土屋藩の「土」と十一の「浦」の合成地名という説や、「津々浦々」からの転訛などの説があります。

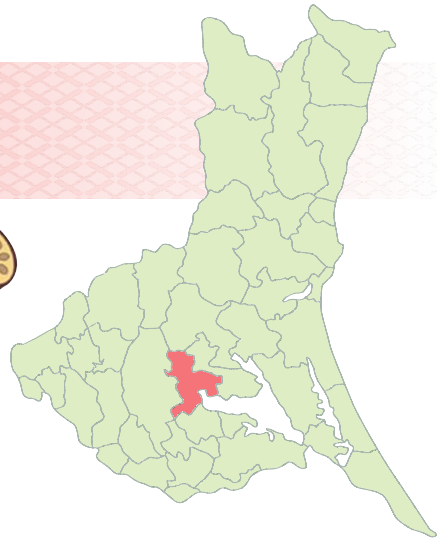
■市の花／さくら

木／ケヤキ、ポプラ

鳥／ウグイス、ヨシキリ



つちまる



全国第2位の湖面積を誇る霞ヶ浦のほとりに位置する土浦市は、江戸時代から県南の中心都市として発展し、まちなかには見世蔵や古い商家が点在するほか、土浦城址は亀城公園として堀や櫓門が残されています。秋には、約2万発の花火が夜空を彩る土浦全国花火競技大会、食の祭典カレーフェスティバルが開催されます。レンコンは、日本一の生産量を誇ります。また、つくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめ、りんりんスクエア土浦やりんりんポート土浦などが整備され、快適なサイクリングが楽しめます。

観光カレンダー

4月中旬	かすみがうらマラソン 兼国際プラインドマラソン
7月下旬～10月中旬	観光帆船船
8月上旬	土浦キララまつり
10月上旬	土浦カレーフェスティバル
11月第一土曜日	土浦全国花火競技大会

霞ヶ浦

霞ヶ浦は、国内第2位の面積を持つ湖で、7月下旬から10月中旬の土日と祝日には、霞ヶ浦の夏の風物詩である観光帆船船が運航されます。観光遊覧船のホワイトアイリス号やジェットホイルつづくば号に乗船すれば、観光帆船船を間近で見学することができます。霞ヶ浦湖畔の霞ヶ浦総合公園には、体育館をはじめ、レストラン、ネイチャーセンターなど施設が充実しています。



スポット

霞ヶ浦の雄大な自然を体感

小町の館

平安時代の歌人で絶世の美女とうたわれた小野小町伝説が残る地域にある直径7mの水車がシンボルの小町の館では、小野小町に関する資料などを展示しているほか、常陸秋そばが味わえます。小町の館体験館ではそば打ち体験等も行われています。また、周囲には懐かしい田園風景が広がり、気軽に楽しめるハイキングコースも整備され、週末には多くの方でにぎわいます。



スポット

昔懐かしい風景が広がる

りんりんスクエア土浦



スポット

つくば霞ヶ浦りんりんロードの中心に位置する駅直結型サイクリング拠点。シャワー、コインロッカー等を備え、レンタサイクルも行っており、気軽にサイクリングへ出かけられます。

りんりんポート土浦



スポット

霞ヶ浦湖畔のりんりんロード沿いに整備されたサイクリング拠点。整備・休憩スペース、シャワー、100台分の無料駐車場や緑の広場も備え、屋上テラスからは霞ヶ浦を見渡せます。

土浦全国花火競技大会

大正14年、霞ヶ浦海軍航空隊殉職者の慰霊、商店街の復興、秋の実りへの感謝と農民への慰労を目的とし、神龍寺の故秋元梅峯住職が中心となって開催したのが始まりです。全国から集まる花火師たちが、スターマイン（速射連発花火）の部、10号玉の部、創造花火の部の3部門で腕を競い合います。6分間で約2,000発を打ち上げる、大会提供のワイドスターマイン「土浦花火つくし」も圧巻です。



イベント

日本三大花火大会の一つ

土浦カレーフェスティバル

地元食材で日本一の生産量を誇るレンコンを活用し、カレーでまちおこしを目指して始まったのが、「土浦カレーフェスティバル」。地産地消の考えに基づき、地元産レンコンを使用したオリジナルカレーが楽しめるほか、全国各地からご当地カレー・ご当地グルメが集まり、多くの来場者が訪れる土浦の食の祭典。No.1を決定する「C-1グランプリ」は、主業・創作の2部門で行われます。



イベント

全国からご当地カレー大集合

レンコン



お土産

土浦市は日本一のレンコンの産地です。市内では品質の良いレンコンを使った料理や加工したお菓子を販売しています。夏には、レンコン畑に蓮の花が鮮やかに咲きます。

亀城公園



スポット

土浦城の本丸と二の丸の一部を整備した公園で東櫓と西櫓が復元されています。櫓門は当時のままで、本丸にある櫓門としては関東で唯一現存するものです。

石岡市

ISHIOKA City

■概要／人口：74,539人

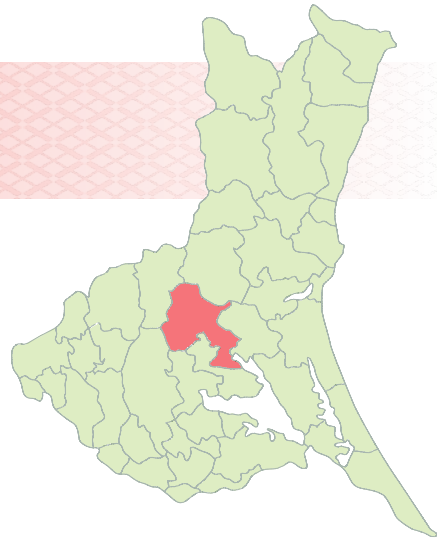
年間観光入込客数：1,471,600人

■由来／もともと13世紀末の常陸国衙の在庁官人の「仮名」に由来する石岡。それが「城名」→「藩名」→「町名」をへて現在の「市名」となっている呼称といわれていますが、正確には定かではないといわれています。

■市の花／ゆり

木／椎

鳥／ひばり



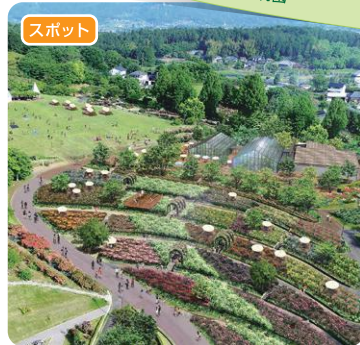
古くは常陸国の中心地として栄え、商業都市として発展してきた石岡市は、霞ヶ浦と筑波山麓を有する歴史と自然を楽しめるまちです。その自然を生かしたナシ、カキ、クリ、ブドウ、ミカン、イチゴ、ブルーベリーなどの果樹栽培も盛んで、シーズン中はたくさんの方が果物狩りに訪れます。また9月に行われる石岡のおまつりは、関東三大祭りに数えられるお祭りです。山域ではハングライダーやパラグライダーのスカイスポーツを楽しむことができ、茨城県フラワーパークでは、世界のバラ3万本が咲き誇ります。

観光カレンダー

4月上旬～下旬	風土記の丘 さくらまつり
5月中～下旬・6月中旬	茨城県フラワーパーク パラまつり
7月下旬	柿岡のおまつり
9月中旬	石岡のおまつり

茨城県フラワーパーク

2021年春、「感じる いばらきフラワーパーク」をコンセプトに新しいフラワーパークがリニューアルオープン！茨城の県花であるバラを中心に四季で変化するバラテラスや県内の食材を楽しめるレストラン、季節ごとの魅力を感じる様々なアクティビティ体験をご用意。また、隣接するふれあいの森には、グランピングを楽しめる宿泊施設がオープンするなど、一日中楽しめる施設に生まれ変わります！※2020年6月22日から一時休園中です。



スポット

花と緑の楽園

看板建築

看板建築とは、主に東京や関東周辺で関東大震災後に商店などに用いられた建築様式です。具体的には、木造2階建ての店舗兼住宅で、建物の前面を垂直に立ちあげ、モルタルや銅板、タイルなどで洋風のデザイン装飾を施した建物のことを言います。無名の職人たちが、在来の技術や技能によって新たに創り上げた庶民の建築様式です。



スポット

様々なデザインの建築を見ることが出来る

まち蔵 藍



スポット

江戸時代末期に建てられた木造2階建ての商家建築（染物店）で、石岡の大火を免れた貴重な建物。大火前からは土蔵が残っています。現在では観光施設まち蔵「藍」として営業中。

朝日里山学校



スポット

木造校舎の元小学校を活用した体験型の観光施設。地元食材を使用したピザ作りやそば打ち、田植えや野菜の収穫など自然を生かした色々な体験メニューが楽しめます。

石岡のおまつり

正式には「常陸国總社宮例大祭」といい、石岡にある常陸国總社宮の最も重要なおまつりです。初日には、格式高い大神輿と40台を超える幌獅子や山車が市内を練り歩きます。中日には、各所で多くの行事が行われ、中でも駅前の御幸通りでは、幌獅子や山車のパレードが盛大に行われます。最終日には、再び大神輿が市内を練り歩いて大きな盛り上がりを見せ、おまつり期間中には、50万を超える見物客で市街地は大賑わいします。



イベント

関東三大祭りの一つ

しし鍋



グルメ

古くは江戸時代、しし肉は「山鯨」と称され、冬の栄養補給食として、この地で親しまれてきました。そんなしし鍋を名物として市内の飲食店で提供しています。

いしおかサンド



お土産

石岡市内の菓子店が地元の農産物で作ったオリジナルスイーツ。ルールは「市産品を使用」「サンドしている」「各店舗の創造性」の3つだけ。名店の個性豊かな各店自慢の味を楽しめます。

石岡府中杉細工

平安時代に国府が置かれていた石岡市では、江戸時代末期から醸造業が発達し、府中杉を使って酒樽や仕込み樽、日用品作りなどが盛んに行われていました。現在は府中杉を使った樽作りの技法を継承し、香りよく艶のある「杉細工」として復活しています。（県伝統工芸品）



お土産

伝統ある杉細工

龍ヶ崎市

RYUGASAKI City

■概要／人口：77,222人

年間観光入込客数：230,000人

■由来／市名の由来にはいくつかの説があります。

ひとつは「竜巻が多い土地柄だったから」。他にも「龍が降ってきた地の先にあるという伝説から」。または江戸時代の学者の「町の形が龍を思わせるから」という説もあります。最後に「鎌倉時代に龍崎氏がこの地を治めていたから」という説があります。

■市の花／ききょう 木／松 鳥／白鳥



まいりゅう



市の西側に自然豊かな牛久沼があり、名物ウナギのほか近年ではブラックバス釣りのメッカとして都内を中心に関東近県から多くの釣り人で賑わいをみせます。全国の防災ヘリの訓練拠点で小型飛行機専用の竜ヶ崎飛行場や、歴史的には仙台・伊達藩の所領として繁栄した由来があり、国の重要文化財である来迎院多宝塔や国選択・県指定無形民俗文化財の撞舞など珍しいお祭りもあります。コロッケでまちを盛り上げようと、商工会女性部が中心となって作り上げた「龍ヶ崎コロッケ」は、B級グルメの定番として大人気です。

観光カレンダー

7月下旬	八坂神社祇園祭
7月下旬	撞舞
11月23日	商業まつり いがっぺ市
毎月第一日曜日	まいんバザール

カガミクリスタル

日本初のクリスタルガラス工場で、すべてが熟練した職人技術での作業です。ドイツ留学した各務鑑三（かがみこうさう）が、クリスタルガラスの美しさとグラヴィール（彫刻）など、本格的な技術を日本に紹介しました。（県伝統工芸品）

スポット



日本初のクリスタルガラス工場

竜ヶ崎飛行場

都心からアクセス2時間の飛行場です。小型機・遊覧飛行などを行っています。遊覧飛行は飛行場一周から東京一周まで17コース程あります。また、軽飛行機の拠点でもあり、パイロット操縦訓練が盛んに行われています。

スポット



様々なコースの遊覧飛行ができる

たつのこやま

スポット



龍ヶ岡地区のシンボル「たつのこやま（標高41m）」がある公園。晴れた日は、筑波山から東京スカイツリー、富士山まで一望でき、360度ひらけた関東平野ならではの景色を楽しめます。

龍ヶ崎森林公園

スポット



キノコ型のキャビンハウス20棟、ログハウス大小7棟、バーベキュー用かまど32基が完備されたキャンプ場です。アスレチックや遊具も充実しており、春には、約200本の桜が咲き誇ります。

牛久沼水辺公園

スポット



牛久沼のほとりにあり、沼の自然に触れることができる親水公園。白鳥や水辺に暮らす多くの野鳥を観察できるため、バードウォッチング・スポットとしても人気があります。「うな井」発祥の地。

商業まつり いがっぺ市

イベント



薬師市と産業まつり、商業まつりと一緒に合わせてできたイベント。約2kmある商店街通りを商工会加盟店やおなじみの龍ヶ崎コロッケの出店などで埋め尽くされます。

撞舞（国選択・県指定無形民俗文化財）

450年以上の歴史をもつ伝統芸能。中国伝来の散楽を起源とし、軽業が変化したものではないかといわれています。高さ14mの柱を龍の背中に見立て、蛙が龍の背中をよじ登る様子を表わしています。蛙に扮した舞男といわれる男性が、その柱の上で逆立ちしたり、寝そべったりと妙技の限りを尽くします。雨乞いや豊穡祈願、または疫病よけの意味があるといわれています。

イベント



450年以上の歴史をもつ伝統芸能

龍ヶ崎コロッケ

龍ヶ崎商工会女性部有志によりスタートされた、まちおこし「コロッケ」・十余年の活動が結実し、「YAHOO!ご当地メシ決定戦2014」において、見事優勝しました。まちおこし「コロッケ」の取り組みに賛同した市内飲食店や精肉店により、平成15年1月にコロッケクラブ龍ヶ崎が設立され、令和2年3月時点で、19店舗が加盟しています。

グルメ



Yahoo!ご当地メシ決定戦2014で見事優勝

取手市

TORIDE City

■概要／人口：107,097人

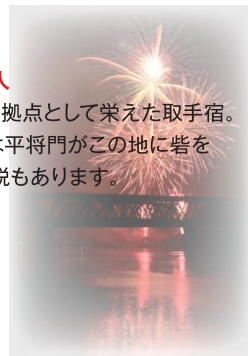
年間観光入込客数：206,000人

■由来／江戸時代の頃から利根川水運の拠点として栄えた取手宿。その由来となる取手は、一説には平将門がこの地に砦を築いたことに端を発したという説もあります。

■市の花／ツツジ、フジ

木／モクセイ、ゲッケイジュ

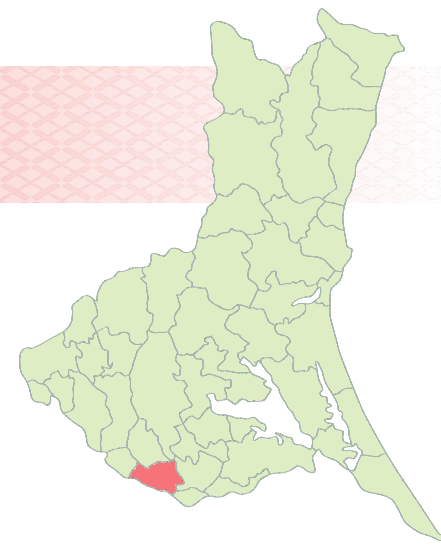
鳥／フクロウ、カワセミ



取手市の鳥カワセミ



取手市の鳥フクロウ



本県の南の玄関口として江戸時代から水運、陸運の要所となった取手市は、今でもJR常磐線、国道6号など交通の要として重要な役割を果たしています。なんといっても最大の魅力は、雄大な利根川の流れ。四季を通じて野鳥の観察ができ、河川敷を利用した緑地運動公園やゴルフ場など市民の憩いの場として、利根川と人々との関わりの深さを感じさせます。歴史にまつわる史跡なども多く残り、旧取手宿本陣、竜禅寺三仏堂、長禅寺三世堂などの見所もあります。

観光カレンダー

8月上旬	八坂神社例大祭
8月中旬	とりで利根川大花火
1月中旬	とりで利根川たこあげ大会
1月中旬	とりで利根川どんとまつり

キリンビール工場見学

キリンビールの旨さを実感できる見学ツアーを体験できます。麦芽の試食や実際にビールの製造過程で造られる一番搾り麦汁と二番搾り麦汁の比較試飲など工場ならではの体験をした後は、工場直送の美味しいビールを試飲することができます。ビール工場限定のお土産も販売しています。

スポット



予約をすれば見学ツアーに参加できる

旧取手宿本陣

寛政7年（1795）に建築され、水戸街道に残る本陣建築では最古・最大のもので。歴代の水戸藩主との深いつながりを示す品々や、多くの古文書が伝えられています。茨城県の有形文化財として指定されています。

スポット



水戸街道に残る本陣建築

小堀の渡し

スポット



大正3年より運航開始。平成11年に取手市営のバスが運行するまで、小中学生や住民の足として活躍し、現在は小堀の住民だけでなく、誰でも乗船できる観光船になっています。

岡堰

スポット

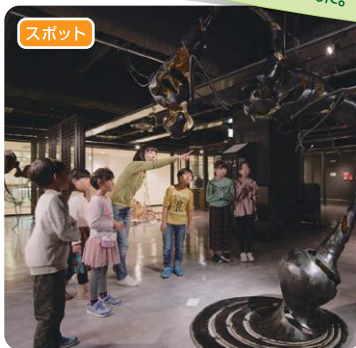


江戸時代の初めに伊奈半十郎忠治により築かれ、相馬二万石の用水となりました。関東三大堰の一つに数えられ、茨城百景にも選定されています。

「たいけん美じゅつ場」愛称 VIVA(ビバ)

令和元年12月にOPENしました。

スポット



「たいけん美じゅつ場」愛称VIVA（ビバ）は、アートを通じて、ひと・もの・情報が行き交う文化交流の拠点です。この施設は取手市・東京芸術大学・JR東日本東京支社・アトレが結んだ連携協定の取り組みの一つで、令和元年12月にアトレ取手4階フロアにオープンしました。VIVAには、とりでアートギャラリー、東京芸術大学の卒業・修了作品を保存・展示するオープンアーカイブなどがあり、展示と連携したイベントなども開催しています。

とりで利根川たこあげ大会・どんとまつり

イベント



自作風の出来栄え・揚げり方を競う自作品たこあげコンクールや、手ぶらで参加できる「たこ作り教室」も開催します。新春の伝統文化を体験できる行事です。

とりで本舗

お土産



取手のいいものを全国どこへでもお届けする、インターネットショップとりで本舗。名産品でもある奈良漬を始めとして、漬物やお煎餅など数多くの商品を取り扱っております。

奈良漬・漬物

元々奈良県が発祥の奈良漬ですが、江戸時代に取手に伝わりました。利根川が運んでくれる養分豊かな水と、水はけの良い土壌が育てくれるみずみずしい野菜、その旨さをそのまま封じ込める伝統の製法で作られています。新六本店（奈良漬）・山中屋（奈良漬）戸祭貞次郎商店（漬物）など100年以上続く名店がその名を連ねます。

グルメ



西の名物を東で堪能!!

牛久市

USHIKU City

■概要／人口：**84,852人**

年間観光入込客数：**1,293,600人**

■由来／龍ヶ崎市の金龍寺に「怠け者の小僧が牛になってしまい、沼に身投げをしました。そこから『牛を沼が食った』『牛食う沼』と変わり、その沼が牛久沼と呼ばれるようになった」という昔話が伝わっており、沼の名の由来・地名の由来となっているという説があります。

■市の花／菊 木／金木犀 鳥／鶯

牛久市は茨城県の南部に位置し、首都東京から50kmの距離にあります。JR常磐線、国道6号、圏央道とアクセスする立地条件の良さから、首都圏のなかの新しい衛星都市として宅地の開発が進み、飛躍的な発展を遂げています。また、穏やかな水面が広がる牛久沼や里山などの自然があふれる景観、国の重要文化財に指定されている日本初の本格的なワイン醸造場である牛久シャトー、ギネスブックに認定されている牛久大仏など、観光スポットも多く、国内外から多くの観光客が訪れています。

牛久大仏

高さ120mの大仏様

台座を含めた高さが120mあり、青銅製立像では世界一の高さを誇る牛久大仏。胎内は拝観することができ、地上85mの胸の位置にある展望台からは外を眺めることができます。また、園内には四季折々の花が咲く庭園や、小動物公園もあります。



スポット

牛久シャトー

日本初の本格的ワイン醸造場

明治期の洋風建築の趣きが残る赤レンガ造りのシャトーカミヤは、明治36年に完成しました。当時は、ブドウ栽培から醸造、瓶詰めまで一貫して行った日本初の本格的ワイン醸造場であり、日本のワイン発祥地の一つとして知られています。平成20年には国の重要文化財に指定されています。



スポット

牛久市観光アヤメ園

2万本の花がお出迎え

牛久市観光アヤメ園は昭和61年に開園しました。毎年6月には、約200品種2万本のアヤメや花菖蒲など色とりどりに咲く花が楽しめます。また、春には土手沿いの桜が、秋には園路沿いのヒガンバナが楽しめます。



スポット

長沼りんご園

秋にはりんご狩り、夏はブルーベリー摘みが楽しめる、エコファーマー認定農園です。自然な香りと甘さがあふれる果実が楽しめます。



スポット

小川芋銭記念館(雲魚亭)

小川芋銭はカッパを題材にした独特な境地の幻想画で知られています。「雲魚亭」は、小川芋銭の住まいを兼ねたアトリエを公開したもので、複製画等の展示があります。



スポット

守谷市

MORIYA City

■概要／人口：**68,498人**

年間観光入込客数：**100,800人**

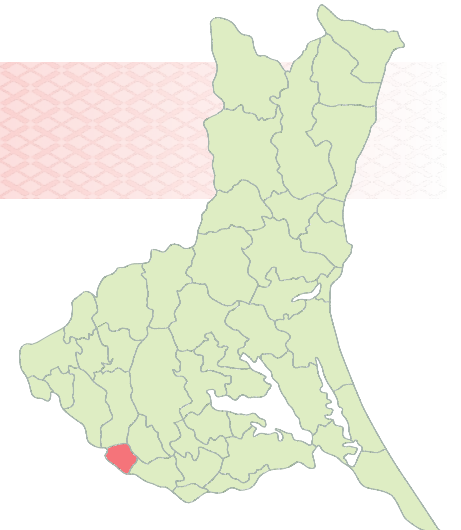
■由来／平将門がこの地を築いたとき、岡が高く、谷が深かったので、守るのに易い谷であるということから、守りやすい谷、転じて「守谷」となったとの説があります。

■市の花／山百合

木／松

鳥／小綬鶏

守谷市は、茨城県の南西端に位置し、東京都心から約40km圏内にあります。常磐道やつくばエクスプレスにより、都心部とも直結、めざましい発展を遂げています。新しいまちのイメージを持ちながらも、歴史も古く、平将門にまつわる「平将門と7人の影武者の墓」や徳川家康ゆかりの長龍寺、家康水のみ井戸跡などの名跡も残されています。さらに、日本を代表する企業立地も多く、アサヒビール(株)や(株)明治の工場見学をすることができます。



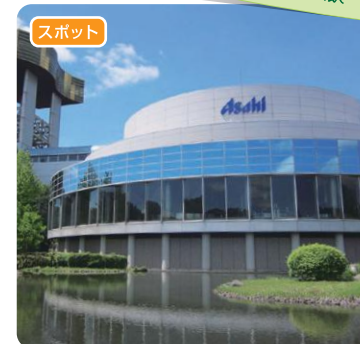
観光カレンダー

2月上旬	守谷ハーブマラソン
5月上旬	MOCOフェスタ
7月下旬	八坂神社祇園祭
9月下旬	守谷市商工まつり
11月下旬～	もりや
12月下旬	クリスマスファンタジー

アサヒビール茨城工場

工場できたてのビールを試飲

東京ドーム9個分に相当する広大な敷地で、国内最大級のビール製造ラインを有するアサヒビール茨城工場。案内係が厳選されたビールの原料からビールができるまでを分かりやすく説明します。工場内の見学後は地上60mのアイムタワー(試飲会場)で「アサヒスーパードライ」等を試飲できます。



スポット

明治なるほどファクトリー守谷

ヨーグルトの製造工程を見学

ヨーグルト専門工場に併設した工場見学施設です。いろいろなヨーグルトの製造ラインを見学できるばかりでなく、牛乳や乳製品の楽しみながら学ぶことができます。平成28年7月に見学施設をリニューアルし、映像機器も充実させ、さらに楽しく学べる施設になりました。



スポット

四季の里公園

一面に広がるアヤメなどが観賞できる

園内の池周辺に植えられた約38,800株のアヤメやハナショウブが観賞できます。毎年5月上旬から6月中旬にかけて順に見頃を迎え、写真撮影・写生スポットとして、市内外から多くの観光客が訪れます。



スポット

守谷野鳥のみち

利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれた静かな林間と明るい湿地草原を含む総延長4キロの歩道です。ごみの持ち帰りなど案内板に書かれているルールを守り、野鳥の声や守谷の自然をお楽しみください。



スポット

アーカスプロジェクト

国際的に活動するアーティストが滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスプログラムと、子どもから大人までを対象としたワークショップ等を定期的に行う実施地域の活性化を図っています。



スポット

ヤマイチ味噌



地元の米・大豆を原料に杉の大樽で天然醸造の味噌を造る味噌蔵です。工場直売所では量り売りもできます。定期的に開催している味噌造り教室も人気です。

うしくかっぱ祭り



昭和56年に始まったうしくかっぱ祭り。夕方から始まる「かっぱ囃子踊りパレード」は、延べ1万人を超える踊り手が参加して祭りを盛り上げます。

とこしえ味噌かりんとう



味噌蔵ヤマイチ味噌の濃厚な赤みそを使用し、市内のかりんとう専門店コルカーノが旨味深いかりんとうに仕上げました。

落花生



豊かな牛久の土に抱かれて育った自慢の落花生。厳選された地元産の豆を使い、生産から加工までを一貫して行っています。

守谷市商工まつり



9月下旬開催の市内最大級の守谷駅前イベントです。市内中学校吹奏楽部の演奏やよさこいソーラン踊りなどのステージパフォーマンスのほか、地場グルメなどのブースが集結します。

八坂神社祇園祭



夏に流行る疫病を祓おうということから、夏の始まりに行われるといわれています。山車がグルグルと回る姿は他の祇園祭には見られない守谷特有のものです。

守谷SA やさい村



「守谷SAやさい村」は、常磐自動車道守谷サービスエリア「Pasar(パサル)守谷」内にある守谷市の生産者が運営する生鮮野菜等の直売所です。守谷市の畑で収穫された採れたて野菜などを生産者が直接販売しています。

のむヨーグルト



「のむヨーグルト」は、20時間以上の時間をかけてゆっくりと熟成。独特で深みのあるコクと粘度を生みだしました。香料や安定剤を一切使わない混じりけのないおいしさです。

つくば市

TSUKUBA City

■概要／人口：**237663人**

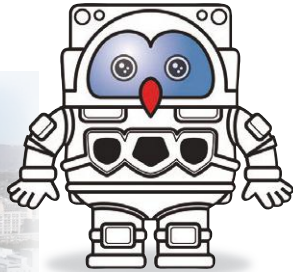
年間観光入込客数：**4,259,100人**

■由来／市のシンボリック的存在である筑波山にちなんだ名称。

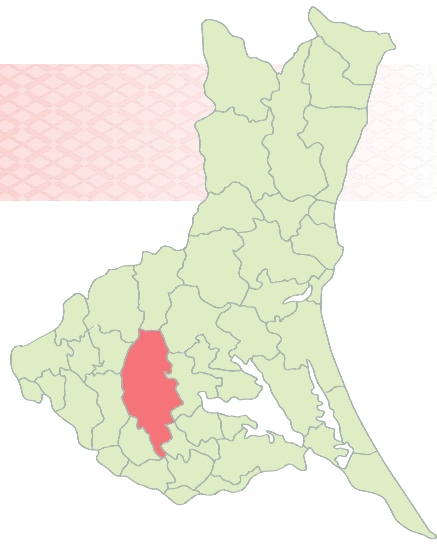
■市の花／ホシザキユキノシタ

木／ケヤキ

鳥／フクロウ



フックン船長



つくばエクスプレスの開通により、つくば―秋葉原間を最速45分で直結。都市基盤整備も整い、沿線には住宅立地が進んでいます。観光拠点の筑波山は万葉の時代から人々に親しまれ、筑波山神社の参拝客や登山客が通年絶えることがありません。また平沢官衙遺跡、小田城跡など史跡をはじめ神社・仏閣も多く見所も豊富。さらにJAXA筑波宇宙センター、つくばエキスポセンター、産業技術総合研究所などの研究施設やノバホール、つくば美術館など文化施設も充実。歴史と科学の調和したつくば市は将来性も抜群の都市です。

観光カレンダー

2月中旬～3月下旬	筑波山梅まつり
5月上旬	つくばフェスティバル
8月下旬	まつりつくば
10月下旬	筑波山麓秋祭り
11月上旬～下旬	筑波山もみじまつり

筑波山

朝夕に山肌の色を変えるところから「紫峰」と呼ばれている筑波山。男体山、女体山の二峰を持つことから、生産のシンボル、神の住む山として、古くから多くの人々に信仰されてきました。また「西の富士、東の筑波」と並び称されてきた優美な姿は、多くの歌人を魅了し、「万葉集」や「小倉百人一首」などに数多く歌われています。山頂へ向かうハイキングコースには、奇岩、怪岩を巡るコースや自然研究路があり、標高871mの男体山へはケーブルカーで、標高877mの女体山へはロープウェイでも気軽に登ることができます。2016年には筑波山地域がジオパークに認定されました。



スポット



茨城県のシンボル

筑波山梅まつり

筑波山中腹、標高約250m付近に位置し、約1,000本の梅が咲き誇る筑波山梅林で約1ヶ月に渡り開催。期間中は梅茶の無料サービスのほか、筑波山名物ガマの油売り口上披露、野点茶会、つくば観光大使によるお出迎えなど様々なイベントもあります。梅まつり限定、美味しい梅を使った料理「梅（うめ）食」も人気です。

約1,000本の梅が咲き乱れる

イベント

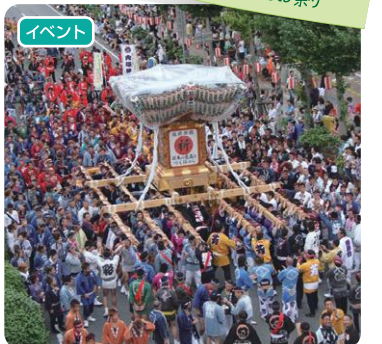


まつりつくば

2日間で約46万人が訪れる、歴史や科学など多様な文化の融合が織りなすつくばならではのイベントです。土浦学園線を通行止めにして開催される「大パレード」は、日本最大級の大きさを誇る「万灯神輿」や1985年のつくば万博を記念して製作された「万博山車」のほか、「ねぶた」、「竿燈」の競演など、見どころ満載です。

つくばを代表するお祭り

イベント



つくばラーメン激戦区

つくば市内には200を超えるラーメン店があり、東京ラーメンショーでグランプリに輝いた店や、専門サイトで常に上位にランキングされる有名店など、全国的にもレベルが高い数多くのラーメンが軒を連ね、各店が凌ぎを削る群雄割拠のラーメン激戦区となっています。また、北関東最大級のラーメンイベント「つくばラーメンフェスタ」や、筑波山麓特産「福来みかん」を使用したラーメンを期間限定で店舗提供する「福来らーめん紀行」など、ラーメン激戦区ならではのイベントも開催されています。

ラーメンの街つくば

グルメ



つくばうどん

茨城県ではけんちん汁のそばやうどんが普段から食べられており、つくばうどんはこのけんちんうどんの一種。具材は筑波地鶏の「つくね」、地元産「黒野菜」、茨城県産銘柄豚の「バラ肉」の頭文字をとって名付けられました。

グルメ



筑波北条米

筑波山南西側山麓一帯の水田は、関東きっての良質米産地として知られており、良質の米「筑波北条米」が生産されます。甘味と粘りが強いのが特徴で、昭和初期には皇室にも献上されていました。

お土産



つくばコレクション

「つくばコレクション」は、つくば市を代表する優れたお土産品として、市が認証した商品です。お酒、お菓子、食肉製品、調味料など、おすすめのものがばかりです。つくばのお土産は、ぜひ、右のマークを目印にお選びください。

つくばの優れたお土産品

お土産



Farm to Table つくば

地産地消を応援するために、地元産食材を使ったレストランの紹介や、料理人、農家さんのこだわり等の特集も掲載するウェブサイトがオープンしました。おいしいつくばの食をみんなで楽しみましょう。



Farm to Table つくば
ホームページQRコード



つくばワイン

つくば市は2017年12月に、国から構造改革特区「つくばワイン・フルーツ酒特区」の認定を受けました。2019年には第1号となるワイナリーが誕生し、今後更なる産業の拡大が期待されています。

スポット



筑波山神社

筑波山を御体とする筑波山神社。西峰の男体山頂に筑波山大神・伊弉諾尊（いざなぎのみこと）を、東峰の女体山頂に筑波山女大神・伊弉冉尊（いざなみのみこと）の二神を祀っています。また、伊弉諾尊と伊弉冉尊が結婚し神々を産み、国産みをされたことから、縁結び、夫婦和合、家内安全、子授けなどの御神徳があるとされています。

日本屈指のパワースポット

スポット



JAXA 筑波宇宙センター

人工衛星やロケットなどの研究開発や開発試験、打ち上げた人工衛星の追跡管制、国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」の運用管制、宇宙飛行士の養成などを行っています。

スポット



筑波実験植物園

国立科学博物館の植物研究施設で、日本をはじめ世界の様々な植物およそ3,000種類が見られます。広く一般に公開されており、温室では熱帯や乾燥地の珍しい植物なども楽しめます。

スポット



フォレストアドベンチャー・つくば

フランス発祥の自然共生型アウトドアパーク。森の地形や樹木をそのまま生かし、地上10m以上の木々の間に張られたワイヤーをつたって空中移動する全11サイト73アクティビティはスリル満点です。筑波山梅林上空を100mのロングジップスライドで滑空する爽快感は最高です。また、隣接する「筑波山おもてなし館」では休憩もできます。

森の中を空中散歩

スポット



平沢官衙遺跡

今から1,000年以上前の奈良・平安時代の筑波郡の役所跡で、1980年に国指定史跡に指定されています。校倉・土倉・板倉の3棟を復元して古代空間を再現し、案内所を併設しています。

スポット



筑波山温泉

筑波山中腹には、筑波温泉・筑波山温泉「双神の湯」の二つの源泉があります。アルカリ性の強いアルカリ性単純温泉で肌がすべすべになることから「美肌の湯」ともいわれています。

スポット



つくばサイエンスツアー

一つの市内で多様な分野の世界最先端、世界唯一の研究開発の成果を直に見学・体験できる「つくばサイエンスツアー」は、「科学の街・つくば」ならではの魅力です。「つくばサイエンスツアーバス」は、常設展示施設を持つ市内の6研究施設を巡る1日乗り放題のバス。また土曜日にはスタッフガイド同行コースも運行しています。

つくばの知を巡る!

イベント



セグウェイシティガイドツアー in つくば

日本で最初にモビリティロボット実験特区として認定されたつくば市では、セグウェイで街中を散策できるシティツアーを楽しむことができます。研究学園都市らしい実物大ロケットの展示のある科学館「つくばエキスポセンター」や、緑豊かな景色や有名建築家が手掛けた建築物のある「松見公園」、つくば駅周辺などを巡ります。

ロボットの街つくばならではの

イベント



稲敷市

INASHIKI City

■概要／人口：**39,702人**

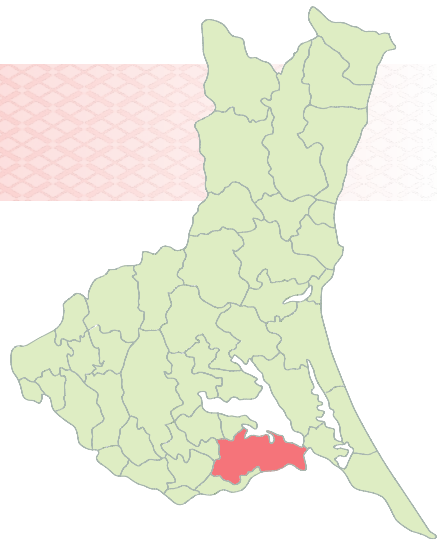
年間観光入込客数：**478,100人**

■由来／大地に稲穂がそよぐ風景がより強くイメージできるなどの理由により「稲敷市」と決定しました。

■市の花／きく

木／さくら

鳥／うぐいす



稲敷市は稲敷台地と広大な水田地帯からなり、霞ヶ浦、利根川、新利根川、小野川などの豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれ、水運と農業を主として発展した地域です。観光スポットはここで紹介する施設のほかにもゴルフ場や釣り場、自然を生かした公園など数多くあります。圏央道(稲敷IC、稲敷東IC)が開通し、東京都からのアクセスも容易となり、つくば市や成田市など周辺都市との連携もますます期待されます。

観光カレンダー

4月中旬	稲敷チューリップまつり
6月8日	寝釈迦の花まつり
6月上旬	ふな釣り大会
6月中旬～下旬	江戸崎かぼちゃフェア
8月下旬	いなしき夏まつり花火大会

大杉神社

大杉神社は日本唯一の夢むすび大明神といわれ、正月の初詣や2月3日の節分祭には多くの参拝客が訪れ、年間の参拝者は約33万人を数えます。古くから「あんばさま」の呼び名で親しまれ、神護景雲(じんごけいうん)元年(767)に、勝道上人によって創設されたといわれています。境内にそびえ立つ2本の大杉を海や川の守り神とし、漁業関係者から信仰を集めています。また抱瘡除けの神様としても有名です。

スポット



あんばさま総本宮

横利根閘門

スポット



横利根閘門(よことねこうもん)は大正3年から約7年の大工事の末、大正10年に完成し、現在も利用されている我が国最大級の規模を持つ煉瓦造複開式閘門です。

笑遊館

スポット



地域の人たちの交流の場として、また、まちに訪れた方のための休憩所や観光案内所として、平成16年にオープンしました。この施設は、古くからある鈴木屋旅館を改装したものです。

こもれび森のイバライド

スポット



動物にさわる。自分でつくる。思いっきりカラダを使って遊ぶ。「こもれび森のイバライド」は、茨城の自然の中でたくさんの思い出を手作りできる体験型テーマパークです。東京から車で約90分のスムーズなアクセスも魅力です。

寝釈迦の花まつり

イベント



毎年6月8日に行われる祭りで、「腰巻おがみ」の名で広く知られています。この日には、茨城県指定有形文化財の像長約2mの珍しい寝釈迦像(釈迦如来涅槃像)も開帳されます。

いなしき夏まつり花火大会

県内有数の打ち上げ数

イベント



稲敷チューリップまつり

イベント



会場には20種類10万本以上のチューリップが咲き誇ります。模擬店、動物ふれあい広場が設置されたり、特設ステージでは、郷土芸能発表や歌謡ショーなど豪華絢爛です。

稲しきのあげもち

お土産



一口にあげ餅といっても、「つき方」、「干し方」、「揚げ方」は、作る人や家庭によって種類は千差万別。「稲しきのあげ餅」とは、稲敷自慢の米を、稲敷の人が、それぞれの作り方で作ったあげ餅の総称です。

かすみがうら市

KASUMIGAURA City

■概要／人口：**41,401人**

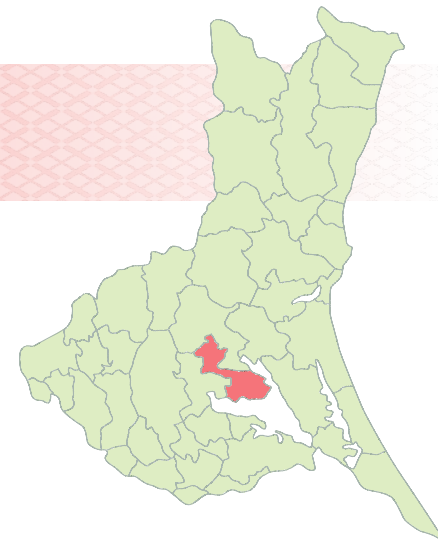
年間観光入込客数：**277,300人**

■由来／湖の「霞ヶ浦」。合併後にひらがな表記になりました。

■市の花／あじさい

木／くり

鳥／うぐいす



西に雪入山、東に霞ヶ浦を持ち、山と湖の大自然に囲まれた美しいまちです。温暖な気候に恵まれ、梨・ぶどう・栗・柿・イチゴなどの観光果樹園が盛んで果物狩りにたくさんの方が訪れます。明治13年に折本良平氏が考案した風力による漁船「帆引き船」発祥の地でもあります。さらに水郷筑波国定公園内である景勝「歩崎」の地で全国でも数少ない公道を閉鎖した自転車耐久レース「かすみがうらエンデューロ」の開催地として全国から注目されています。

観光カレンダー

5月3日	帆引き船フェスタ
7月中旬	あゆみ祭り
7月下旬～11月	観光帆引き船
11月3日	かすみがうら祭
11月下旬	かすみがうらエンデューロ

帆引き船

帆引き船発祥の地

スポット



霞ヶ浦のシンボルである帆引き船を使った漁法は、かすみがうら市(旧：佐賀村)に生まれた折本良平氏によって明治13年に考案されました。霞ヶ浦漁業の歴史を知る上で極めて重要な文化遺産であることから、霞ヶ浦で昭和46年に初めて観光帆引き船として復活しました。また、平成30年3月に「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」が国選択無形民俗文化財に選定されました。

果物狩り

茨城随一のバリエティ

スポット



かすみがうら市の果樹園では、一年を通して果物狩りができます。6月～8月にはブルーベリー、8月～10月にかけては梨・ぶどう。9月～11月にかけては栗・柿。12月～5月はいちごが楽しめます。

かすみがうら市歴史博物館

お城形の博物館

スポット



開館30周年を迎えた郷土資料館が、平成29年1月1日をもって歴史博物館として新たに生まれ変わりました。この博物館は昭和62年の霞ヶ浦大橋の開通に合わせ開館し、地域の歴史と文化を守り続けてきたほか、観光拠点としても市のシンボルとなっています。

歩崎公園

水と緑のフレッシュ空間

スポット



歩崎は霞ヶ浦随一の景勝地として水郷筑波国定公園に指定され、展望台から望む三叉沖の眺めは定評があり茨城百景や茨城の自然100選の一つに数えられます。公園内には、歴史博物館、水族館、あゆみ庵(茶室)、民家園などともに台地に森林公園、湖岸に園地が整備され、水辺と木々の緑が相まって絵のような光景が広がっています。帆引き船やサイクリングなどのイベントも行われる観光交流スポットになっています。

江戸崎かぼちゃフェア

甘さも栄養価も抜群のかぼちゃ

イベント



稲敷自慢のおいしさがたっぷり詰まった江戸崎かぼちゃ。約50年にわたる生産の歴史で培われた栽培方法と厳格な検査体制を継承し、完熟収穫を徹底しています。江戸崎かぼちゃフェアでは、参加店による「江戸崎かぼちゃ」を使ったお菓子、料理などを期間限定で販売します。

稲敷チューリップまつり

イベント



会場には20種類10万本以上のチューリップが咲き誇ります。模擬店、動物ふれあい広場が設置されたり、特設ステージでは、郷土芸能発表や歌謡ショーなど豪華絢爛です。

稲しきのあげもち

お土産



一口にあげ餅といっても、「つき方」、「干し方」、「揚げ方」は、作る人や家庭によって種類は千差万別。「稲しきのあげ餅」とは、稲敷自慢の米を、稲敷の人が、それぞれの作り方で作ったあげ餅の総称です。

雪入ふれあいの里公園

スポット



平成9年に採石場の跡地を利用し建設された公園で、雪入山周辺の豊かな自然や、多様な動植物の生態を間近に観察、学習できる施設です。遊歩道からは、市全体を望めます。

かすみがうら市水族館

スポット



平成元年に開館し、トンガリ屋根がトレードマーク。霞ヶ浦と霞ヶ浦水系に生息する生物の魅力を発信し、霞ヶ浦の自然環境の大切さを学び、霞ヶ浦の様々な生物の保全の重要性を認識できる展示になっています。

かすみがうらエンデューロ

イベント



平成24年に第1回大会を開催。全国的にも珍しい公道を占用したコースになっています。霞ヶ浦周辺の市町村のグルメが集まる「霞ヶ浦まるごとグルメフェス」も同時開催されます。

かすみがうら祭

イベント



かすみがうら祭は、毎年11月3日(文化の日)に第1常陸野公園、千代田公民館で行われる秋の一大イベント。会場の第1常陸野公園では、たくさんの物産展テナントの出店やステージ発表、大物演歌歌手の出演もある歌謡ショーが行われ、大勢の来賓で賑わいます。また、公園に隣接するSBS海洋センター・体育館、千代田公民館で行われる文化・芸術作品展示では、日本の趣味活動の多彩な展示を観て楽しむことができます。

つくばみらい市

TSUKUBAMIRAI City

■概要／人口：**51,835人**

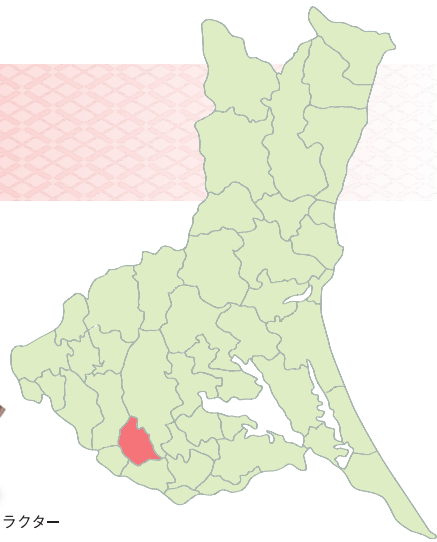
年間観光入込客数：**154,100人**

■由来／市内全域が筑波郡であったこと、つくばエクスプレスの駅名「みらい平」に由来。市名は住民アンケートを基準として候補を選出。合併協議会委員の投票によって決められました。日本一文字数の多い市名です。

■市の花／なのはな
木／さくら
鳥／ひばり



つくばみらい市のイメージキャラクター
みらいんぞう



緑と水の豊かな自然に恵まれた環境にあり、市の中央には小貝川、西部には鬼怒川が流れています。小貝川と福岡堰から流れる用水路の間の堤及びその周辺には、約600本の桜が1.8kmにわたって延び、開花期には見事な景観をつくることから、茨城観光100選にも選定され、県内でも有数の桜の名所となっています。また、つくばエクスプレスの開通などにより宅地化が進んでいますが、国の重要無形民俗文化財に指定されている綱火や江戸時代の冒険家・間宮林蔵の生家など歴史を物語る文化や史跡なども数多く残っています。

観光カレンダー

1月1日～3日	初詣(板橋不動尊)
4月上旬	福岡堰さくらまつり
8月上旬	みらいフェスタ
8月下旬	綱火
10月下旬	商工感謝祭

福岡堰(さくらまつり)

関東三大堰の一つ

現在の福岡堰は昭和47年に完成したもので、岡堰(取手市)・豊田堰(龍ヶ崎市)とともに関東三大堰の一つに数えられます。堰周辺は桜の名所として知られ、桜並木が続く堤は、遊歩道や多目的広場が整備され、散策や釣りをを楽しむ人々の憩いの場となっています。堰の東側には、水辺に親しむことなどを目的とした福岡堰さくら公園が整備されています。

スポット



ワープステーション江戸

国内でも数少ない野外型ロケ施設

時代劇オープンセットが建ち並び、国内でも数少ない野外型ロケ施設。時代設定は江戸時代はもちろんのこと、戦国から昭和までを幅広くカバーしており、NHKの大河ドラマや著名な映画などにも度々登場しています。通常は施設の一般公開は行っていないが、イベント等での期間限定公開があります。

スポット



綱火

人形を操る伝統芸能

国の重要無形民俗文化財にも指定されている綱火は、からくり人形と仕掛け花火を結合し、空中に張りめぐらせた綱を操作し、囃子に合わせて人形を操る伝統芸能です。別名「三本綱」「からくり人形仕掛け花火」とも称し、つくばみらい市には小張松下流と高岡流の二流派が伝わっています。毎年8月下旬に豊年満作と火難除けを祈願して奉納されます。からくり人形と仕掛け花火が夏の夜空を華やかに彩ります。

イベント



板橋不動尊

スポット



関東三大不動尊の一つで、正式名称は「清安山不動院願成寺」。国の重要文化財に指定されている本尊不動明王が安置されている大本堂や楼門、三重塔は茨城県指定有形文化財。

みらいっ娘

スポット



“大地の香り、食べる喜び届けます”をキャッチフレーズに「安全・安心」「地場産」にこだわり、JA茨城みなみ管内(つくばみらい市・取手市・守谷市)を中心に生産された新鮮な野菜・米・加工品などを販売している農産物直売所です。

間宮林蔵記念館

世界地図に名を残した唯一の日本人

「間宮海峡」で有名な、江戸時代に活躍した大探険家・測量家である「間宮林蔵」を顕彰するために建設された記念館。全国各地から収集した貴重な資料や史跡などを時代に沿って紹介しています。

スポット



トマト

お土産



トマトの栽培が盛んで、まるでフルーツのようなジューシーなトマトが、「まっ赤なトマトっ娘(こ)」というブランド名で出荷されています。

巨峰

お土産



つくばみらい市は、40年以上の栽培の歴史を持つ隠れた巨峰の名産地です。鬼怒川・小貝川沿いの肥沃な土地で育った巨峰は粒が大きく、甘くてジューシーな果肉を楽しめます。

美浦村

MIHO Village

■概要／人口：**15,172人**

年間観光入込客数：**93,200人**

■由来／昭和30年に木原村と安中村と舟島村の一部が合併し、霞村が誕生したのですが、即日美浦村に改称。霞ヶ浦を意味する「浦」と、牧歌的で美しい風光明媚な景観を讀えて「浦」の前に「美」を足し、美浦としました。

■村の花／やまゆり
木／やまざくら



美浦村マスコットキャラクター
みほーす



茨城県内に残る2つの村のうちのひとつ美浦村。首都圏から70Km圏内と近く、茨城県南部に位置し、北部と東部が霞ヶ浦に面しています。国史跡に指定されている縄文遺跡「陸平貝塚」がある”歴史のまち”としても有名です。県内では高品質の米や野菜を生産する”農業のまち”としても有名で、オリジナルブランド米「光一点」や「美浦そだち」など独自の銘柄米を出しています。また、マッシュルームやパブリカの一大生産地としても有名です。そして日本中央競馬会のトレーニング・センターがある”トレセンのまち”としても知られています。

観光カレンダー

4月2日曜日	木原城山まつり
10月のいずれかの日曜日	陸平縄文ムラまつり
11月第1土曜日～第3日曜日	”みほ”産業文化・スポーツフェスティバル

JRA美浦トレーニングセンター

競馬ファン必見の施設

昭和53年4月に開設された美浦トレーニング・センターは、約224万㎡(東京ドーム約48個分)の広大な敷地を有し、その中に南北2つのトラック型調教コース、1,200mの坂路調教馬場、競走馬スイミングプール、そして森林馬道といった様々な調教施設があります。常時2,000頭を超える競走馬が、毎日トレーニングを行っています。広報会館「ターフラザ」は土曜・日曜開館です。

スポット



みほふれ愛プラザ

地域交流館

平成29年3月26日オープン！農業の振興と農村コミュニティ向上のため、村民相互のふれあいの施設です。特産品を販売する地域産品直売所や子育てに関する相談や未就学児のお子さんと保護者が気軽に交流できる子育て支援センター、いろんな世代が自由に楽しめる多世代交流サロン・ホールを備え、美浦村の交流と連携づくりが始まります。

スポット



美浦村文化財センター

陸平研究所とも呼ばれる

陸平貝塚をはじめ村内から出土した考古資料の展示室を備え、体験講座や住民ボランティア活動などの拠点となっている美浦村文化財センター。文化財センターとして開館する前は、遺物の収蔵・整理施設のプレハブ建物でしたが、陸平貝塚などの発掘に参加する多くの学生や研究者が集まり、熱心に調査研究を行っていたことから「陸平研究所」とも呼ばれています。

スポット



陸平縄文ムラまつり



毎年10月に陸平貝塚で行われるお祭り。土笛づくり、火起こし、弓矢などの縄文体験をはじめ、わら細工や昔の遊び、案山子コンテストなどの民俗体験等を楽しめます。

木原城山まつり



毎年4月の第2日曜日に、木原城址に整備された城山公園で開催されるお祭りです。園内には、約5万本のチューリップが見事に咲き、特設会場で様々なイベントが開催されます。

かあさんの台所

カフェコーナー

みほふれ愛プラザ内にある「かあさんの台所」です。地元で採れた食材を使って新鮮できたてのお惣菜を提供しています。他市町村との交流イベントを定期的に開催し、特産品どうしのコラボ商品も大盛況です。イベント案内は美浦村HPに掲載されますので、地域に愛される憩いの場として、ぜひお越しください。

スポット



（株）まちづくり美浦

美浦村6次化産品

「子ども達に素晴らしい地域をのこしたい」そんな思いで若手経営者らが集まり【（株）まちづくり美浦】が誕生しました。第1弾として美浦村特産のマッシュルームやパブリカを使った【カレー】や【スープ】、【アヒージョ】など「みほふれ愛プラザ 地域産品直売所」で販売しています。「美浦村をもっと楽しく、もっと笑顔にするために！」

お土産



阿見町

AMI Town

■概要／人口:47,803人

年間観光入込客数:3,462,600人

■由来／この地に和銅元年(708)に建立された阿彌神社に由来するという説が一般的。常陸国風土記に記される「皇祖の天下を経営せらるるや阿彌普都、実に能く天業を補弼せり、其神功成るに及びて天に還りしと、蓋し是地に於てするや」に由来するといわれています。

■町の花／キク 木／サクラ 鳥／ウグイス

霞ヶ浦の南岸に位置し、土浦市、牛久市、稲敷市、美浦村に隣接しています。町の大部分は平坦な洪積台地で、霞ヶ浦を望む台地には、町の天然記念物にも指定されている巨樹・巨木が多くあります。静かな農村地帯というイメージも大正11年に霞ヶ浦海軍航空隊が開設されたことにより一変し、第2次世界大戦までは、海軍の町として全国的に知られる存在でした。その跡地は陸上自衛隊武器学校、東京医科大学、茨城大学農学部、県立ろう学校などに利用されており、現在は文教都市として発展しました。



あみっぺ

観光カレンダー

4月上旬	あみさくらまつり
8月上旬	まい・あみ・まつり
10月下旬	さわやかフェア
10月下旬	あみ商工まつり

予科練平和記念館

昭和14年に、海軍飛行予科練習部いわゆる「予科練」が神奈川県横浜須賀から阿見に移転、終戦まで全国の予科練教育・訓練の中心的な役割を担うこととなりました。「予科練平和記念館」では、貴重な予科練の歴史や町の戦争の記録を保存・展示し、命の尊さや平和の大切さを伝えています。



スポット

平和の大切さを伝えている

あみプレミアム・アウトレット

国内外の著名ブランド約160店舗が軒を連ねるアウトレットセンターです。いつでもお値打ち価格が嬉しいショッピングエリアに加えて、和洋中様々な名店が揃っている飲食エリアも人気。圏央道「阿見東IC」に直結した交通の便の良さ、そして、牛久大仏が見えるアウトレットというロケーションも人気です。



スポット

阿見東 IC からすぐ近く

雄翔館・雄翔園



スポット

予科練出身者により設立された記念館。予科練戦没者の遺影・遺書・遺品約1,000点を収蔵・展示しています。雄翔園には予科練の碑・歌碑等があります。

雪印メグミルク工場見学



スポット

プロセスチーズやマーガリンを製造する阿見工場。見学コースからの製造工程の見学やVR（ヴァーチャルリアリティ）の技術を活用した視覚体験、チーズの試食などができます。

桜の名所



スポット

春には、町の木にもなっている桜が町内各所で咲き誇ります。茨城大学農学部や県立医療大学前の通りは、最盛期はまさに桜のトンネルのようです。

まい・あみ・まつり



イベント

平成2年に始まったお祭りです。町民総参加による町民同士のふれあいの輪を広める交流の場として、毎年夏の風物詩として開催されています。

河内町

KAWACHI Town

■概要／人口:8,754人

■由来／河内の名は、河内郡に属し、利根川と新利根川に挟まれた沃地であることから、公募により選ばれました。

■町の花／あじさい
木／けやき
鳥／ひばり



かわち丸

河内町は都心から50Km、筑波研究学園都市へは30Km、成田国際空港へは20Kmの茨城県の最南端に位置しています。利根川と新利根川が流れる町は、利根川の氾濫によりもたらされた肥沃な大地で育ったお米とレンコンの産地です。観光は体験型として利根川沿いにある堤防を活かしたサイクリングや利根川河川敷にある大利根飛行場の体験搭乗、グルメスポットとしては町の長竿地区にある築100年以上となる旧家をリノベーションした町の小さな拠点「長竿亭」が人気を博しています。また、かわちフェスタやかわちイルミネーションが多くの人でにぎわいを見せています。

長竿亭

築100年以上となる旧家をリノベーションしたまちの小さな拠点です。立派な梁や蔵を見るだけでも一見の価値あり。敷地内では手打ち蕎麦や本格コーヒー等が堪能できます。



グルメ

旧家「長竿邸」から「長竿亭」へ

ワイルドスワンスアトリエ



スポット

革ブランド「WILDSWANS」のアトリエです。見学やワークショップが体験でき、併設のショップ「MARUSAN」では、ここでしか手に入らない限定品も販売されています。

かわちもんじゃ



グルメ

高アミロース米から生まれた新食品素材ライスジュレ（米ゲル）を使用したもんじゃ焼きで、町おこしB級グルメとして河内町の各協賛店で食べることができます。

純米吟醸酒「かわち丸」



お土産

河内町の肥沃な大地で育てられた酒造好適米（五百万石）を原料として水戸市の吉久保酒蔵により作られた純米吟醸酒です。女性からも好まれるフルーティーな香りに仕上がっています。

サイクリングロード



スポット

利根川沿いにあるサイクリングロード。田園風景の先にある筑波山を望みつつ、さわやかな河原の空気をいっばいに受けてサイクリングすることができます。

かわちイルミネーション



イベント

河内町の新たな風物詩として、2018年から行われているイベントです。開催期間中はかわち水と緑のふれあい公園全体が最大約45万球のイルミネーションと音楽で、テーマパーク化します。毎年大勢の観光客でにぎわい、茨城県内でも有数のイルミネーションとしてSNS等において紹介されています。

新たな光の風物詩

大利根飛行場



スポット

利根川河川敷にある飛行場で、軽飛行機、モーターグライダー等のライセンスなどの花が楽しめ、四季折々の風景ができます。体験搭乗は河内町ふさと納税の返礼品にも採用されています。

水と緑のふれあい公園



スポット

不動免沼をぐるりと囲んだ水と緑が豊富な公園です。八重桜、さつき、クチナシなどの花が楽しめ、四季折々の風景を見ることができ、散策にはぴったりの公園です。

かわちフェスタ



イベント

毎年、11月上旬に開催される河内町の大イベントです。メインイベントとなっている芸能人歌謡ショーや大抽選会は、大きな盛り上がりを見せます。また、安くて美味しい食べ物や自慢の一品を販売する模擬店、消防はしご車等に乗れる体験コーナーも充実しています。

長竿の祇園祭



イベント

7月下旬に行われる河内の夏の風物詩です。笛や太鼓のお囃子連を乗せた山車を引き連れ、威勢のいいかけ声とともに稲荷神社の神輿が地区内を練り歩きます。

利根町

TONE Town

■概要／人口：16,063人

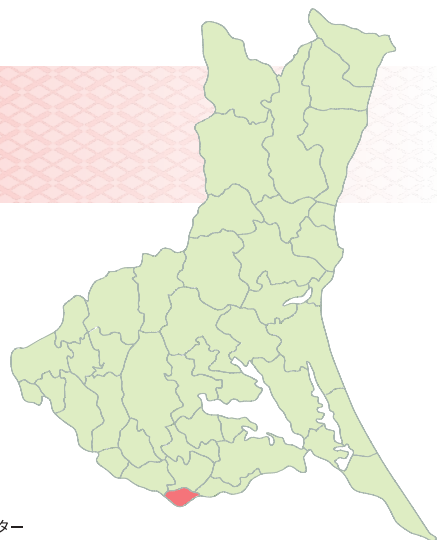
年間観光入込客数：16,000人

■由来／昭和30年(1955)1月1日、布川町、文村、文間村、東文間村の一町三村が合併した際、利根川に隣接する町であることから利根川にちなみ、「利根町」としました。

■町の花／カンナ
木／サクラ
鳥／ヨシキリ



利根町観光協会イメージキャラクターとねりん



利根町は茨城県の最南部、千葉県との県境に位置し、都心からも40km圏内という立地から都心通勤者のベッドタウンとして栄えました。その名の通り日本一の流域面積を誇る大河「利根川」の流れとともに生きてきた水辺のまちです。町内全域には平坦な田園風景が広がり、四季折々で移り変わる自然風景が町を彩り、随所で歴史ある社寺仏閣や文化史跡にも出会える、自然と歴史に包まれた静かなまちです。主幹産業は農業で、お米を中心に、いちご、アスパラガス、花卉などを生産しています。

観光カレンダー

4月上旬	利根町さくらまつり
7月下旬(3年に1度)	布川神社例大祭
8月中旬	利根町民納涼花火大会
11月3日	地場産業フェスティバル
2月11日	利根町凧あげ大会

蛟蛸神社

東西に「奥の宮」と「門の宮」の社から成り、約2300年前に水神である弥図象女大神(みづはのおおかみ)を現在の門の宮の場所に祀ったのが始まりとされる。門の宮の鳥居は、映画「君の名は。」に登場する宮水神社の鳥居のモチーフとなった隠れた「聖地」。奥の宮の境内は厳かな雰囲気、利根町屈指のパワースポットで、御朱印やオリジナルティ溢れるお守りも人気。

スポット



「君の名は。」の聖地!

柳田國男記念公苑

スポット



民俗学の父として知られる柳田國男が少年時代を過ごした旧小川家の母屋を再現した建物。奥の土蔵は資料館となっている。古民家のノスタルジックな雰囲気が魅力。

利根親水公園

スポット



1.6ヘクタールある園内では、カキツバタ、ヒメスイレンなどの水生植物をはじめ、季節ごとの花が楽しめる。池一面に広がる大輪の古代ハスは必見。・古代ハス見頃：6月下旬～7月上旬

利根町民納涼花火大会

利根町の夏を彩る納涼花火大会は、規模は小さいながらも、地元や近隣住民に愛される町の一大イベント。メイン会場では盆踊りをはじめとするアトラクションや、灯ろう流しがおこなわれる。利根川の川面を流れる灯ろうと花火が織りなすノスタルジックな光と水の共演は、かつて水運として栄えた利根町ならではの。

イベント



灯ろう流しと花火がコラボ!

利根川桜づつみ

スポット



平成17年に桜のオーナー制度によって、全長約850mに渡り整備された約180本の桜並木。春には見事な桜のトンネルとなり、毎年遠方から足を運ぶ観光客やカメラマンが訪れる桜の名所。また、土手一面に広がる菜の花も同時に楽しめる。

大平野生植物園

スポット



ボランティアの手により竹林を再生して造られた自然植物園。およそ1000株のヤマユリをはじめ、季節ごとの山野草観察が楽しめる。カタクリ見頃：3月中旬～下旬／ヤマユリ見頃：7月上旬

布川神社臨時大祭

御輿と6町6基の山車が祭囃子の軽快な音とともに町内を練り歩く。3年に一度だけお目見えする御輿は、若衆が神社の77段の石段を7往復しながら水を浴びる「禊(みそぎ)」の儀式を皮切りに、波にもまれるように担ぎ手から担ぎ手へと渡ってゆく。

イベント



迫力の暑い夏は必見!

COFFEE HOUSE とむとむ

グルメ



自社温室栽培の世界最北限といわれるオリジナルコーヒー豆「とねピーンズ」や、厳選した輸入豆を自社焙煎したこだわりのコーヒーをサイフォンでゆっくりと味わえる。メディア取材多数。

ONO PAIN(オノパン)

グルメ



北海道産小麦粉をはじめ、選びぬかれた素材を使用して丁寧に焼き上げたこだわりのパンが魅力の人気店。

県南地域周遊コース

県南地域
周遊
モデルコース
GUIDE

1 牛久大仏
＜牛久市＞



2 龍ヶ崎コロッセ
＜龍ヶ崎市＞



3 JAXA
つくば宇宙センター
＜つくば市＞



Guide
book

4 筑波山神社
＜つくば市＞



茨城県の豆知識④ 『茨城空港』 (※令和2年7月現在)

◇就航路線

茨城⇄札幌	毎日2往復	茨城⇄西安	火・木・土・日曜日 1往復
茨城⇄神戸	毎日2往復	茨城⇄台北	台北(桃園) 日・木曜日 1往復
茨城⇄福岡	毎日1往復		
茨城⇄那覇	毎日1往復(直行便)		
茨城⇄上海	月・金・土・日曜日		



◇駐車場

最大3,100台分の無料駐車場を完備。
何日停めても無料です。(14日以上は要届出)

◇1,000円レンタカープラスキャンペーン

茨城空港を利用し、県内の宿泊施設を1泊以上利用される場合に、レンタカーの基本料金がキャンペーン価格で利用できます。

車両クラス	利用人数	利用料金		
		国内線		
		24時間まで	48時間まで	48時間以降
エコノミー(C)	1名	2,000円	5,000円	車両クラスに応じた 通常料金が 加算
	2名以上	1,000円	3,000円	
スタンダード(C3)	3名以上	2,000円	6,000円	
ワゴン(W1, W2)	4名以上	3,000円	10,000円	

◇各方面からの連絡バス

※全てのルート片道料金、()内は所要時間

茨城空港⇄東京駅	大人1,530円(約100～150分)
茨城空港⇄常陸太田市高速BT	大人1,570円(約130分)
茨城空港⇄つくばセンター	大人1,050円(約60分)
茨城空港⇄羽鳥駅	大人200円(約50～100分) ※土曜・祝日運休
茨城空港⇄水戸駅	高速：大人1,050円 (約40分) 一般：大人1,160円 (約65分)
茨城空港⇄石岡駅	大人630円(約30～35分)
茨城空港⇄新鉾田駅	大人630円(約35分)



◇乗合タクシー(事前予約制)

茨城空港発着の航空機を利用される場合、航空ダイヤに合わせたバスが運行されていない地域でもお得に利用ができます。
※全てのルート片道料金 ※乗車人数により料金が異なります。(下記は全て3人以上利用時)

茨城空港⇄つくば市	2,000円/人～
茨城空港⇄土浦市・かすみがうら市	1,500円/人～
茨城空港⇄神栖市・鹿嶋市	2,000円/人～
茨城空港⇄潮来市	1,500円/人～